

2026. 04. 07

地域の元気応援プロジェクト成果発表会

## 成果発表

# 広島都心部におけるウォークアブル空間デザイン —デザイン提案と社会実験—

【学生】

和田 颯太・森本 匠・萬家 隆介・小林 大起

前川 俊輔・森本 風人・荻野 克樹

【教員】

田中 貴宏

(先進理工 都市・建築計画学研究室)

# 事業の実施体制

## 地域

- 広島都心会議  
(会長: 椋田昌夫、担当: 佐藤彰彦)

## 学生

- 先進理工系科学研究科 都市・建築計画学研究室 学生グループ(代表: 和田颯太)

## 教員

- 田中貴宏(先進理工系科学研究科)

# 対象地：広島都心部

「楕円形の都心」のイメージ



# 対象地：広島都心部

- 「人々が集まる場」「地域経済の中心地」としての役割が求められており、その実現のための方策の1つとして**ウォーカブル空間創出**が必要。
- しかし、現在の広島都心部の歩行者交通量は本通りに集中しており、まち全体の回遊性が乏しい。

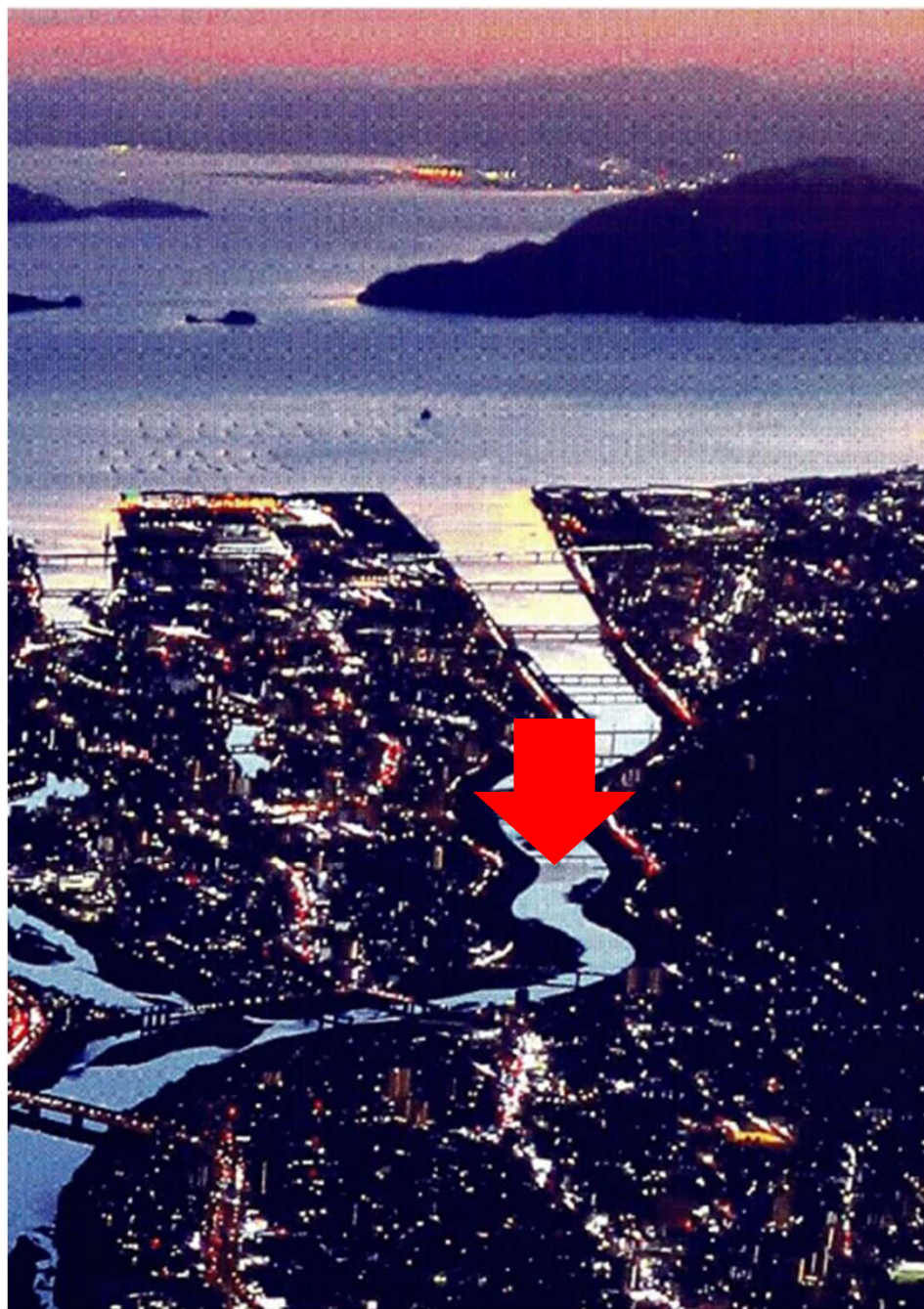


- 広島都心会議は、「広島都心会議ミライビジョン2030」において、「**ウォーカブルで人間中心の環境を創出し、グランドレベルを楽しく憩える空間とすること**」を目標とし、社会実験に取り組んできた。

# 環瀬戸内の文化経済首都

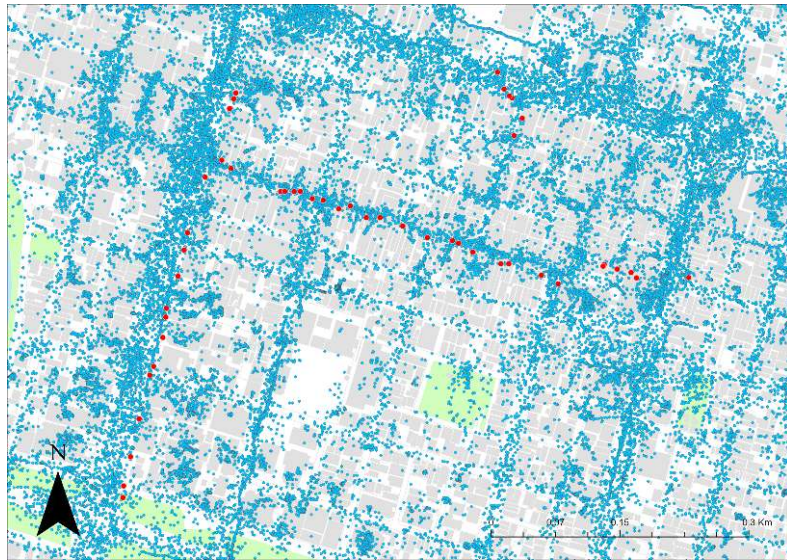
## 「広島」宣言

広島都心会議  
ミライビジョン2030



# 対象地：広島都心部

人流データを用いた研究



プレイスメイキングの効果測定



- 人流データを用いた街の回遊や滞留に関する調査・分析、プレイスメイキングの効果測定などを学術研究として進めてきた。

# 今回の事業の目的

広島都心会議×広島大学

- 両者が連携し、「広島都心部のウォークアブルな空間とは何か？」を定め、まち全体の分析と社会実験を行う。最終的には、広島都心部におけるウォークアブルな空間デザインのガイドライン(案)を作成することを行いたい。

# 本年度の進め方

- ① 「広島都心部のウォークابلとは何か？」の検討
- ② 滞留者分布に影響する都市特性の分析
- ③ ウォークابلな空間の創出に向けた社会実験の実施
- ④ 社会実験の成果の整理
- ⑤ ウォークابلな空間の創出に向けたガイドライン(案)の検討

# ①「広島都心部のウォークアブルとは何か？」 の検討

- 時期:2025年9月
- 内容:広島都心会議メンバーと、広島大学の教員・学生の協働ワークショップを行い、「広島都心部のウォークアブルとは何か？」の検討を行った。

# ①「広島都心部のウォークアブルとは何か？」 の検討

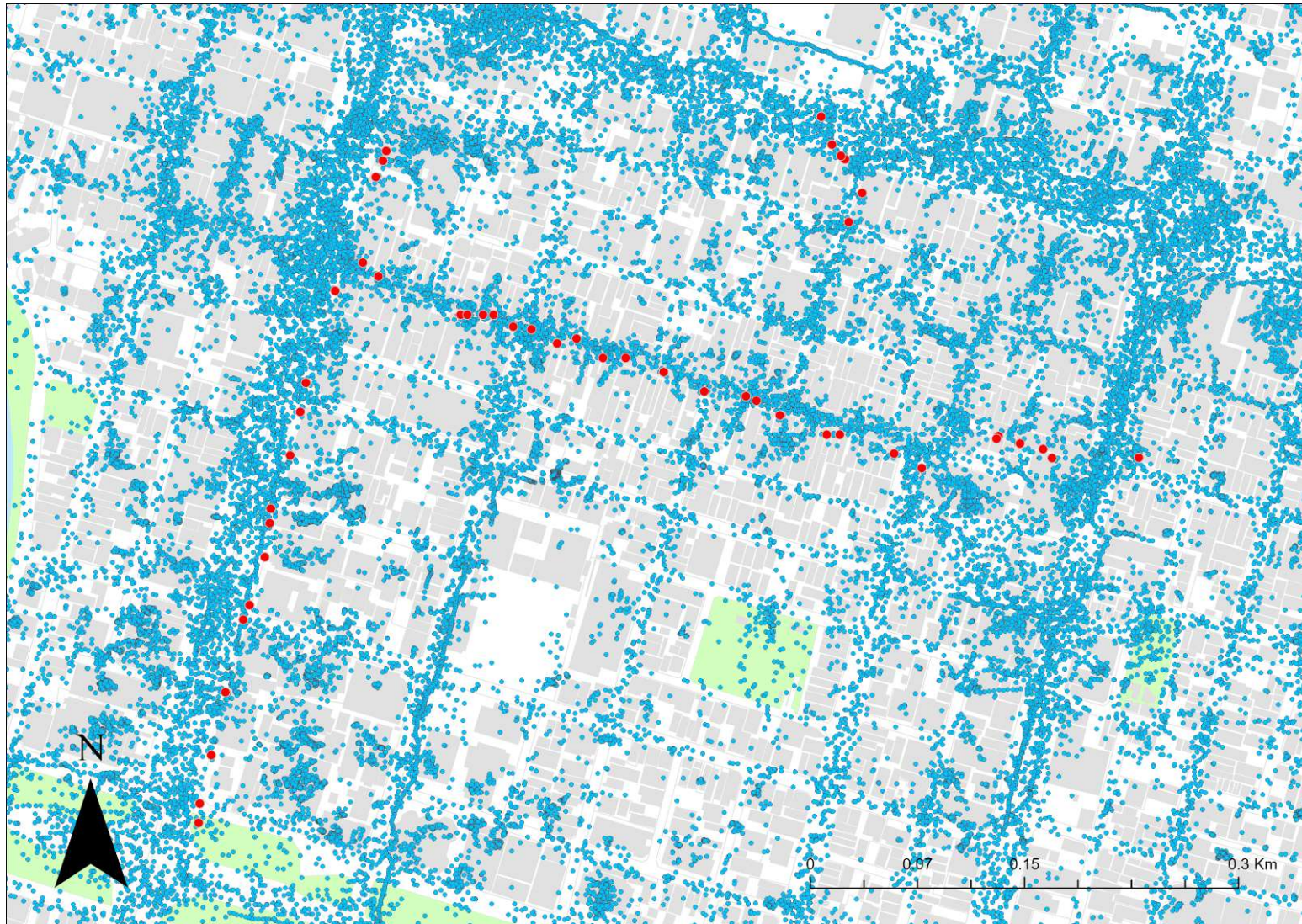


**「まちなかに、気軽に座れる場所が不足している。」** 10

## ② 滞留者分布に影響する都市特性の分析

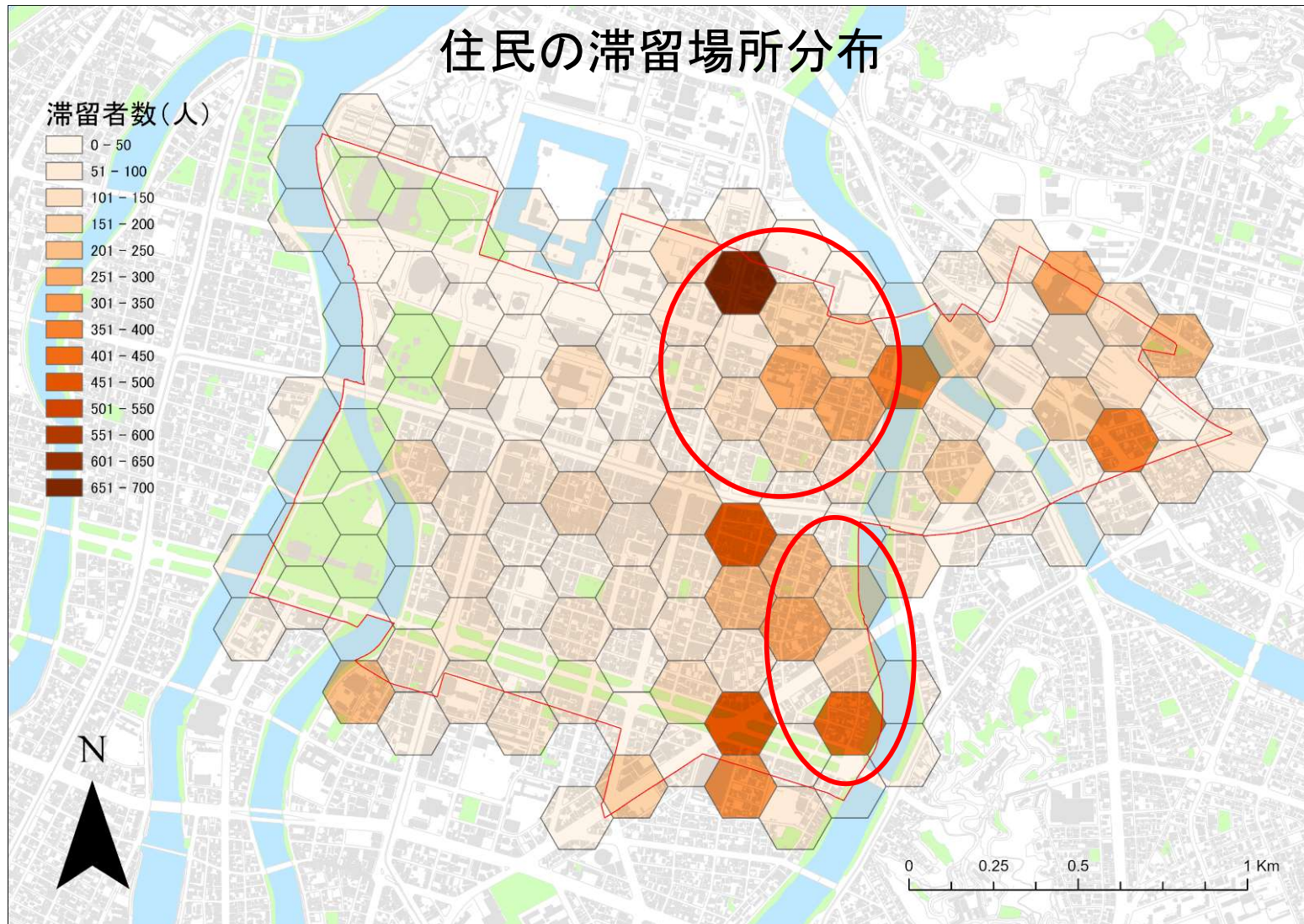
- 人流データを活用し、滞留者分布と周辺環境特性(施設立地や建物密度等)との関連分析を行う。
- その結果をもとに広島都心部における滞留ポテンシャルのあるエリアを明らかにする。

## ② 滞留者分布に影響する都市特性の分析



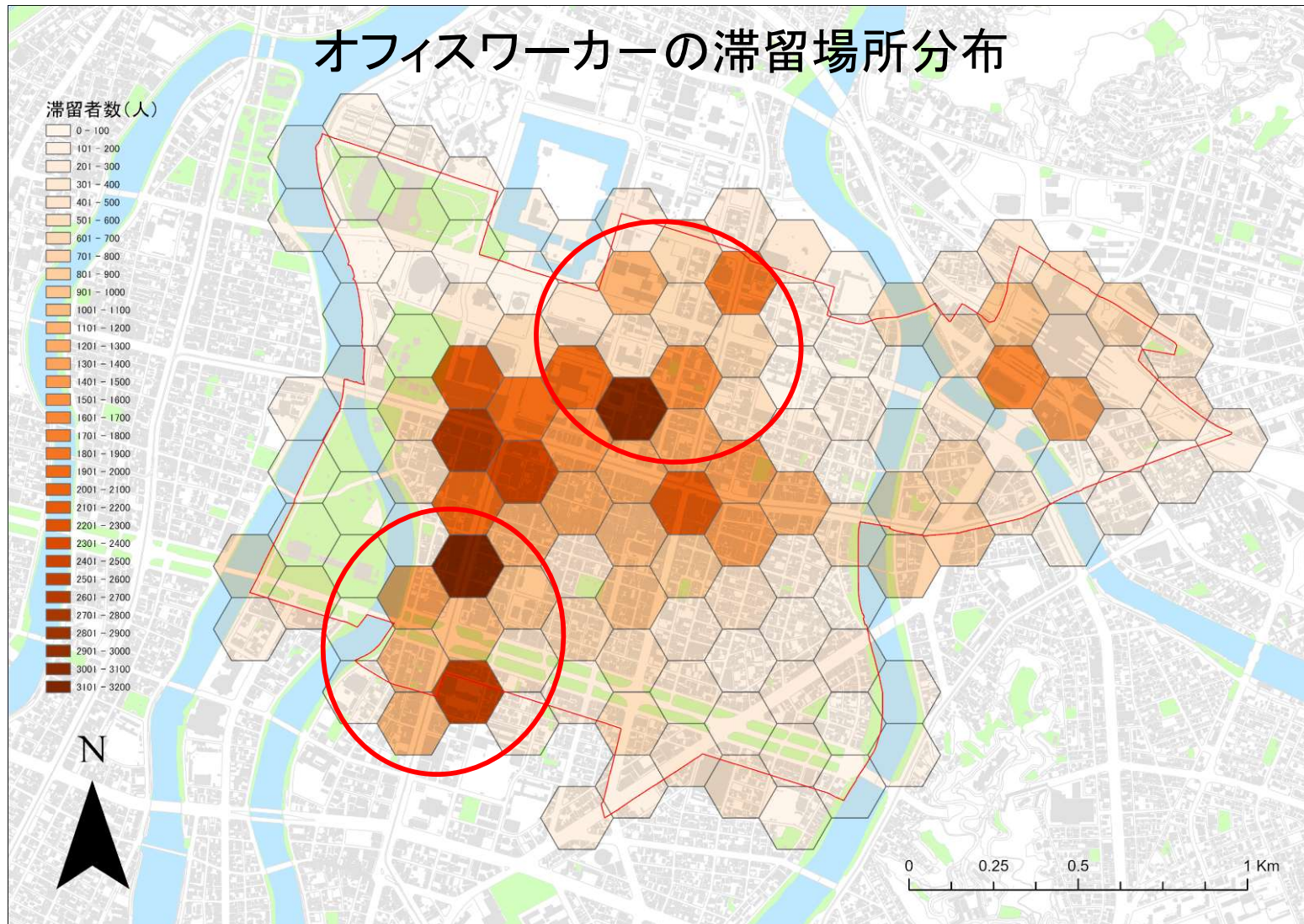
人流データ

## ② 滞留者分布に影響する都市特性の分析



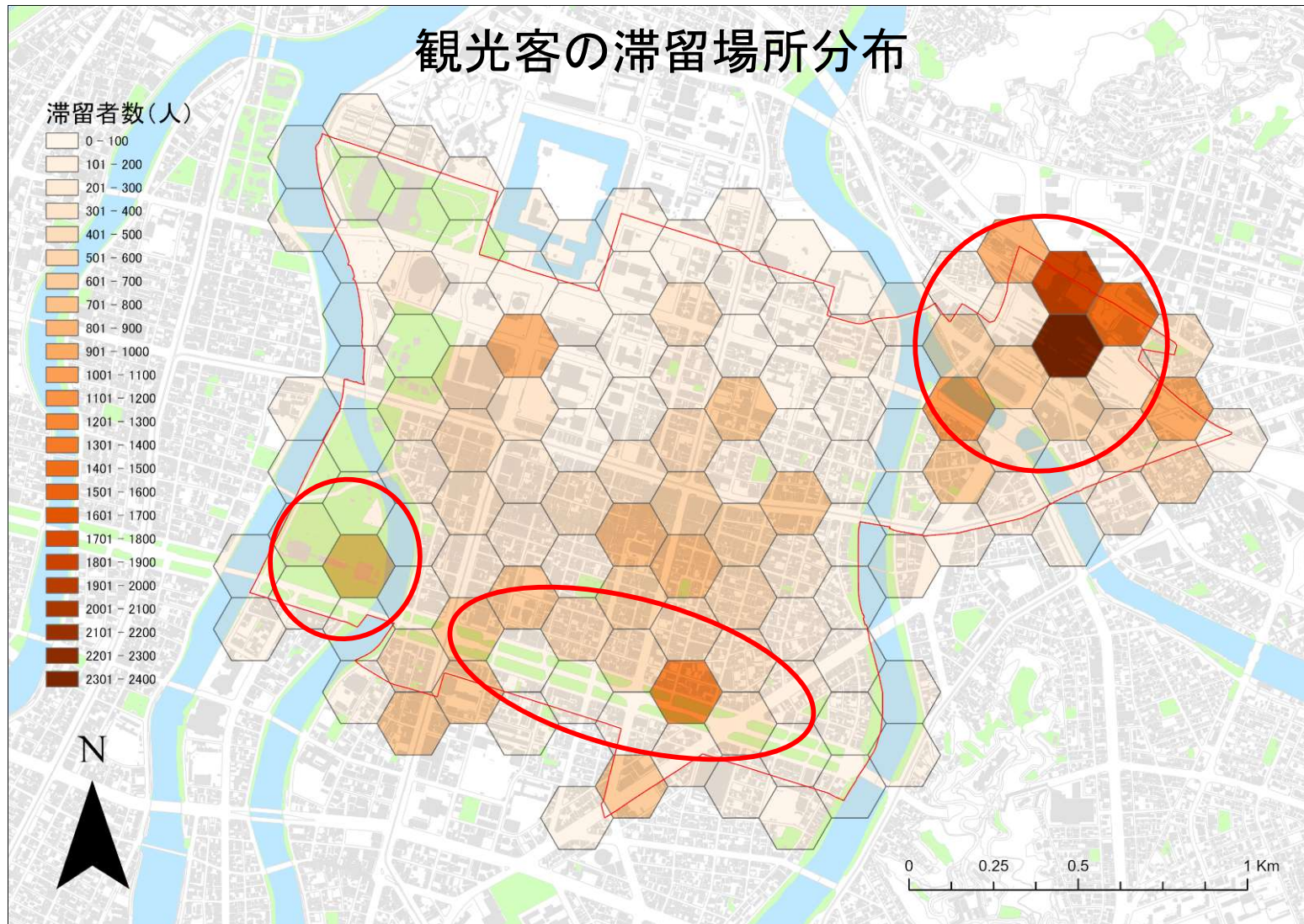
住民の滞留場所分布マップ

## ② 滞留者分布に影響する都市特性の分析



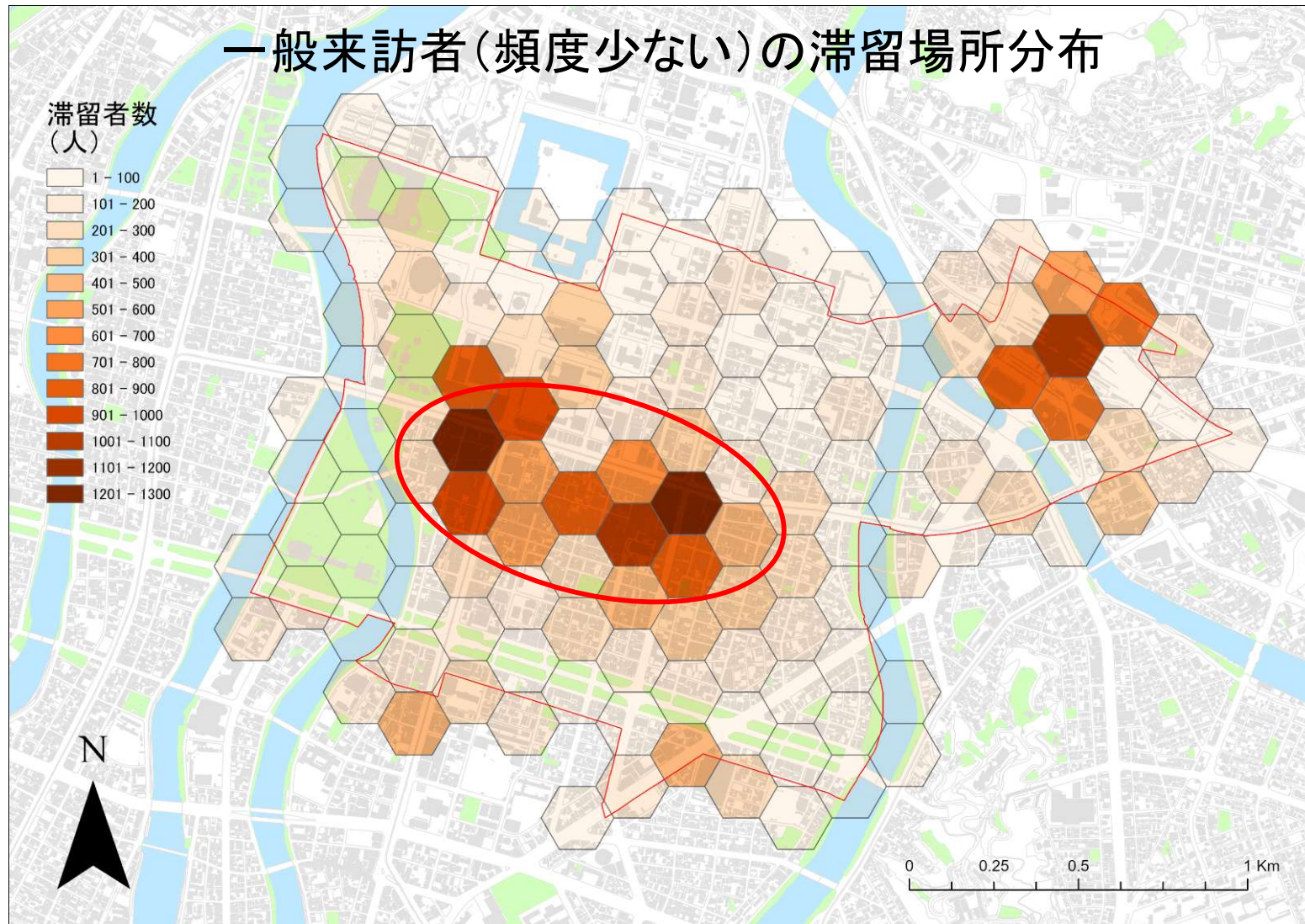
オフィスワーカーの滞留場所分布マップ

## ② 滞留者分布に影響する都市特性の分析



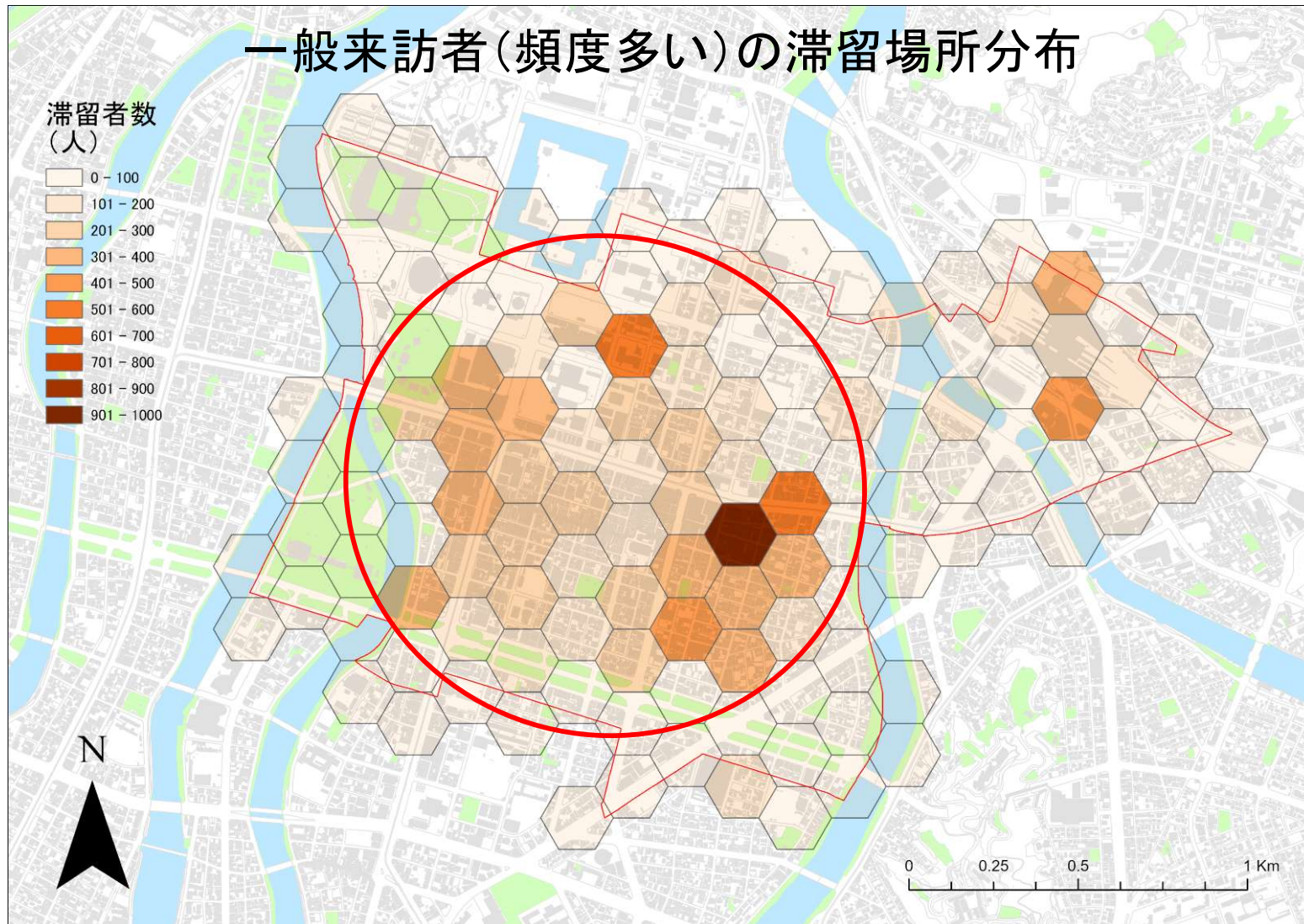
観光客の滞留場所分布マップ

## ② 滞留者分布に影響する都市特性の分析



一般来訪者(来訪頻度少ない)の滞留場所分布マップ

## ② 滞留者分布に影響する都市特性の分析

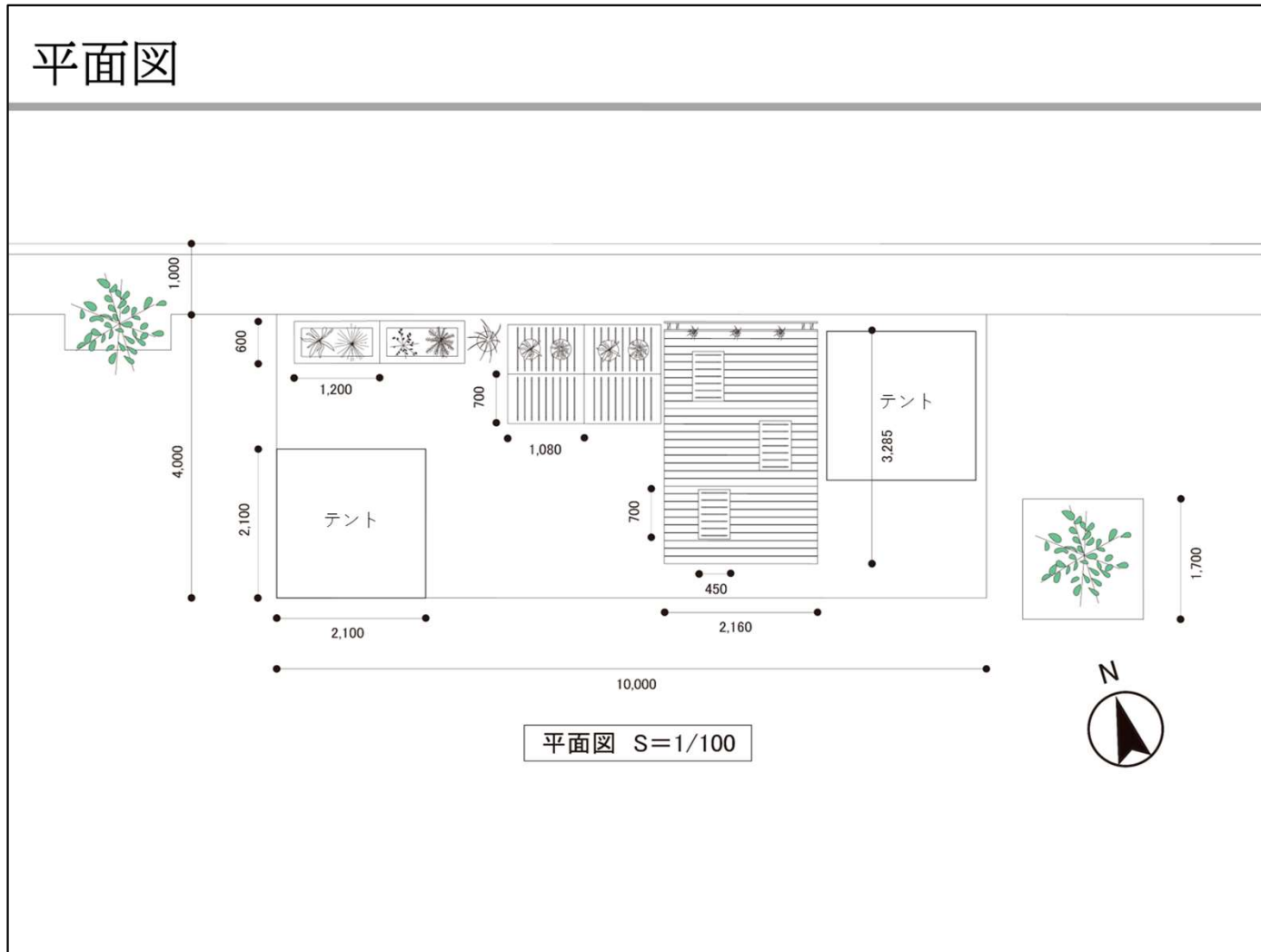


一般来訪者(来訪頻度多い)の滞留場所分布マップ

### **③ウォーカブルな空間の創出に向けた 社会実験の実施**

- **②で把握した滞留ポテンシャルのあるエリア  
に対して、仮設什器(ベンチやテーブル等)を  
製作・設置し、ウォーカブル空間デザインに  
向けた効果検証を行う。**

# ③ウォークアブルな空間の創出に向けた 社会実験の実施



広島都心会議メンバーと議論しながらデザイン

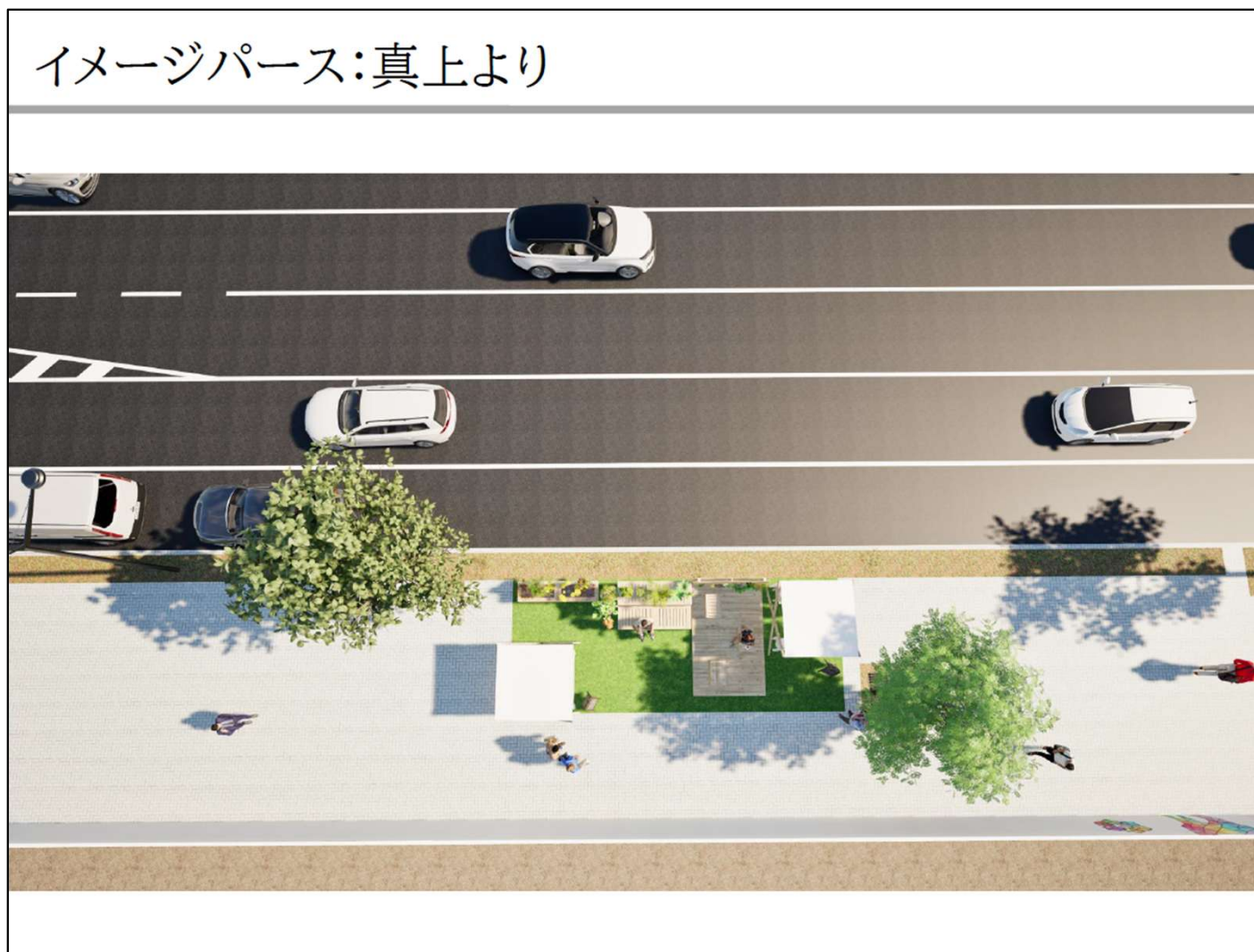
# ③ウォーカブルな空間の創出に向けた 社会実験の実施

イメージパース: 来場者目線



広島都心会議メンバーと議論しながらデザイン

# ③ウォークアブルな空間の創出に向けた 社会実験の実施



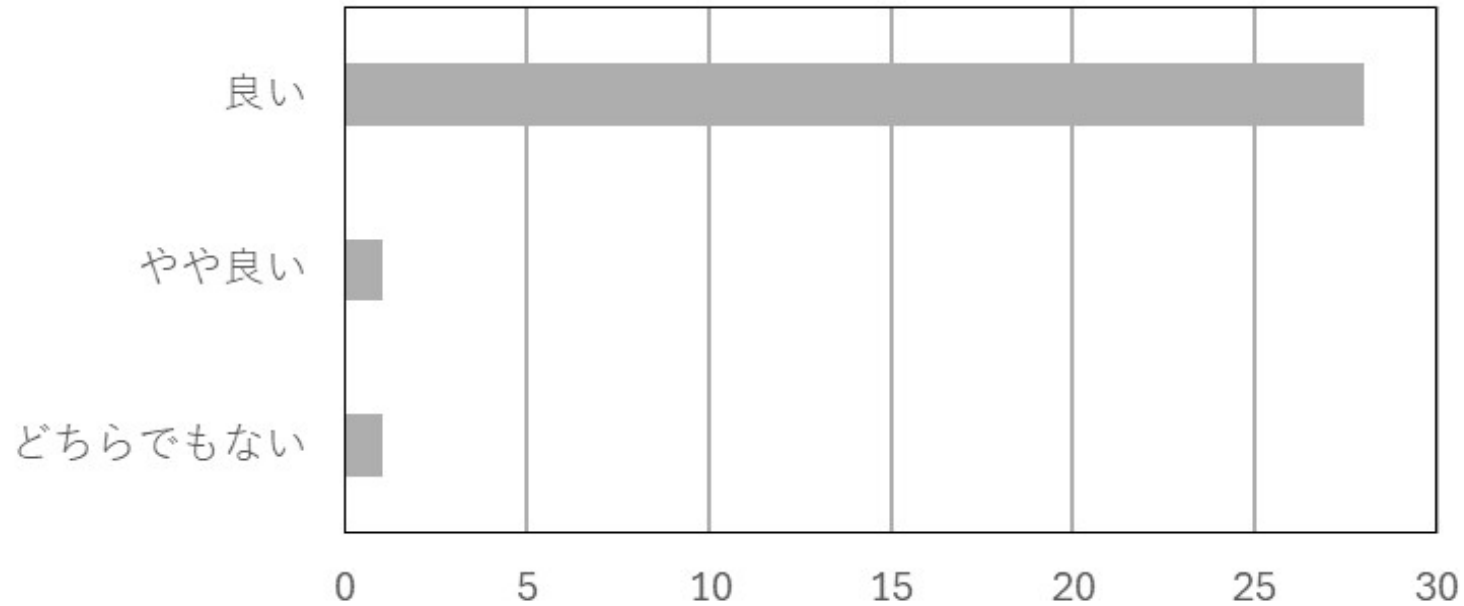
11月下旬に広島都心部で社会実験を実施。

### ③ウォーカブルな空間の創出に向けた 社会実験の実施



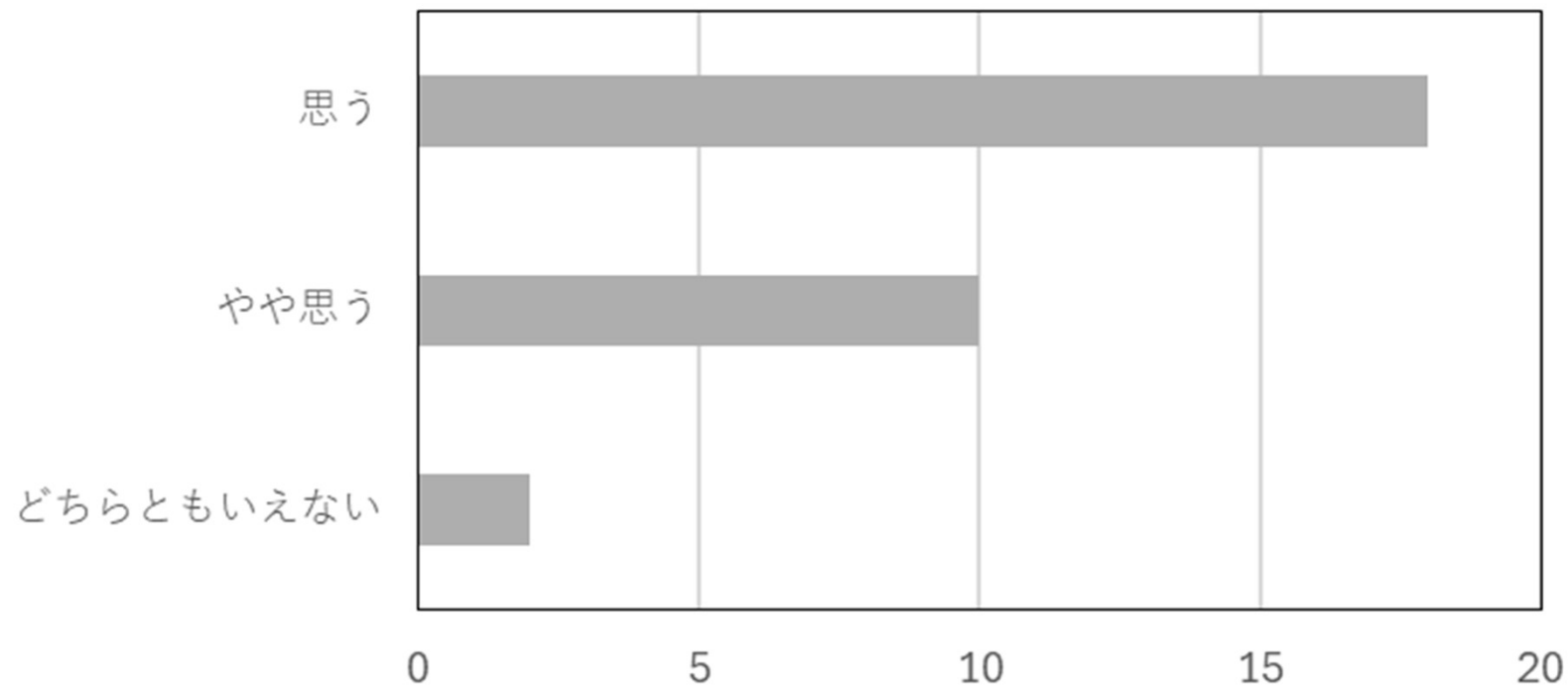
## ④ 社会実験の成果(例)

滞在空間をまちなかに設置する試みへの評価



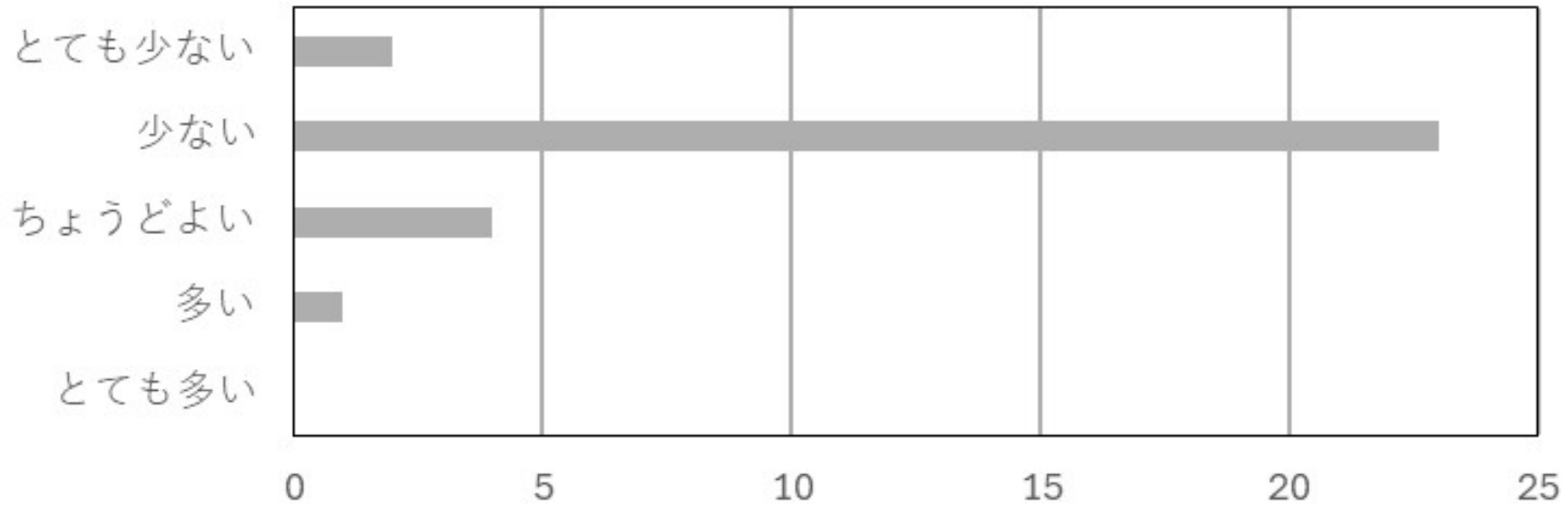
## ④社会実験の成果(例)

滞在空間があることで広島都心部で歩きたくなるか



## ④社会実験の成果(例)

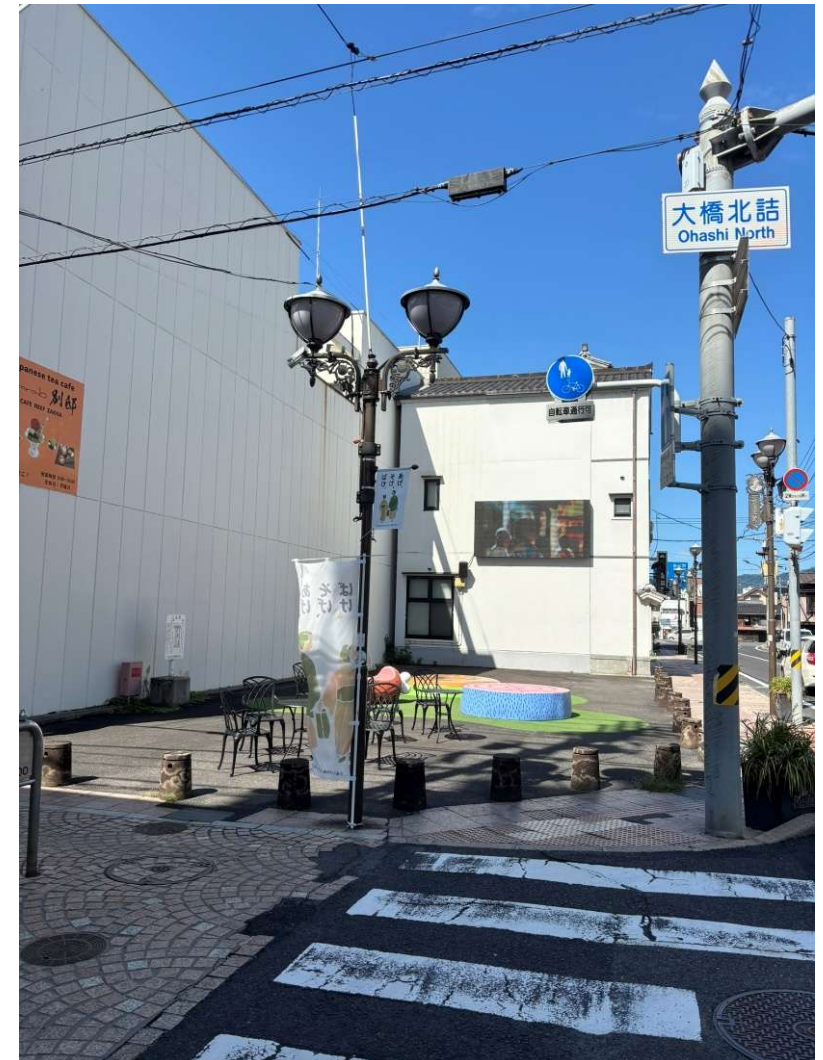
現状の広島都心部の緑の量について



# ⑤ウォーカブルな空間の創出に向けたガイドライン(案)の検討



資料調査



事例視察

# 成果の活用

## ■ウォークアブル空間デザイン提案

- 今回のウォークアブル空間デザインやツールは、そのまま現地に残り、次年度以降のウォークアブル空間整備や賑わい創出の取り組みに活かされる。

## ■都市計画分野の研究成果として公表

- ウォークアブル空間デザインは、全国の多くの都市で課題とされている。本成果は、都市計画分野の学術研究成果としての価値も有するため、論文投稿を行う。

## ■地域まちづくり活動への展開

- 今回、広島大学学生と広島都心会議による、新たなウォークアブル空間デザイン提案を行った。この関係性を通して、地域と広島大学が連携した形の新たな都心部のまちづくりが始まると期待される。